

実施報告書

令和3年度鳥取県高等学校青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター



日 程 令和3年12月11日（土）

会 場 鳥取県立米子工業高等学校

報告書作成：日本赤十字社鳥取県支部

1 実施概要

〔目的〕 青少年赤十字メンバー相互の親睦を図り、赤十字精神を養い、青少年赤十字の実践を通して諸技能を習得し、集団生活の体験を通じて、自主性と協調性並びに指導性を養い、学校や地域の中で自ら行動できるリーダーの育成を目指すことを目的に開催しました。

〔日程〕 令和3年12月11日(土) 9:00～17:00(1日)

〔会場〕 鳥取県立米子工業高等学校(米子市博労町4丁目220)

〔主催〕 鳥取県青少年赤十字指導者協議会、日本赤十字社鳥取県支部

〔後援〕 鳥取県教育委員会

〔参加者〕 25名

内訳) メンバー(生徒) 13名

- 鳥取県立米子西高等学校(2名)
- 鳥取県立米子高等学校(5名)
- 鳥取県立米子南高等学校(1名)
- 鳥取県立米子工業高等学校(1名)
- 米子北斗高等学校(4名)

指導者(顧問) 7名

- 鳥取県青少年赤十字指導者協議会長(1名)
(鳥取県立米子南高等学校)
- 鳥取県立米子西高等学校(1名)
- 鳥取県立米子高等学校(2名)
- 鳥取県立米子南高等学校(2名)
- 鳥取県立米子工業高等学校(1名)

運営スタッフ等 5名

- 鳥取県青少年赤十字賛助奉仕団(3名)
- 鳥取県西部安全奉仕団(3名)※うち2名賛助奉仕団員
- 日本赤十字社鳥取県支部(1名)

令和3年度鳥取県高等学校青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター日程表

【1日開催】

時間	所要時間	12月 11日 (土)
8:20		顧問・スタッフ会議(打ち合わせ) 受付・健康チェック・会場準備 (ボランティアサービス (VS) で)
9:15	15分	開講式
9:30	30分	・オリエンテーション ・HR (3グループに分かれる)
10:00	30分	【研修Ⅰ】 赤十字と青少年赤十字について
10:30	5分	休憩
10:35	85分	【研修Ⅱ】 防災セミナー、講習 (コロナ禍での避難所生活、ホットタオル・毛布ガウン、包帯法 (脚)、 段ボールベッド)
12:00	40分	休憩 ※持参した昼食を黙食。黙食時、非常食、安眠セット等紹介
12:40	90分	フィールドワーク (関所 3つ) 関所…トレセン会場会議室内 関所①芸術は模写から(一斉に行う) 関所②公平に分けよう 関所③じゃみーくんを助けよう 関所③赤十字クイズ!
14:10	120分	個人ワークショップ (これからのJRC活動について)
16:10	5分	休憩
16:15	25分	ワークショップ発表、振り返り、感想文
16:45	15分	閉講式
17:00	30分	片付け、顧問・スタッフ会議(振り返り) スタディセンター参加者打ち合わせ
17:30	10分	顧問・スタッフ会議(振り返り)、解散

※進行状況等により内容が一部変更されることがあります。

2 実施内容

〔開講式〕

健康状態の確認と手指消毒を済ませ、メンバーの進行により開講式を行いました。山崎 和正 会長(鳥取県指導者協議)、福原 則昭 顧問(賛助奉仕団)より開会の挨拶をいただき、生徒代表挨拶を 小澤 倅 さん(生徒協議会会長/米子北斗高校)が行い、本日の目標を発表していました。(都合により、日本赤十字社鳥取県支部事務局長は欠席となりました)



山崎 和正 会長
(青少年赤十字指導者協議会)



生徒代表 小澤 倅 さん
(米子北斗高等学校)



福原 則昭 顧問
(青少年席赤十字賛助奉仕団)

〔オリエンテーション〕

永島主事(日本赤十字社鳥取県支部)、笹川指導者(米子工業高等学校)よりトレーニング・センターにおける日程や留意事項の説明がありました。

〔ホームルーム(以下：HR)〕

オリエンテーション後、各HRに分かれてHRを行いました。自己紹介や今日1日の意気込みなどを共有しました。



1 HR
担当 米子西高等学校
石坂 麻衣子 指導者



2 HR
担当 米子工業高等学校
笹川 恭子 指導者



3 HR
担当 米子南高等学校
澤田 稚佐登 指導者

〔研修Ⅰ 赤十字と青少年赤十字〕

吉持指導者（青少年赤十字賛助奉仕団）を講師に、赤十字や青少年赤十字の成り立ちなど学習しました。講義はクイズ形式で進められ、HRのメンバーと協力して答えを考えていました。



青少年赤十字賛助奉仕団
吉持団員による講義



講義風景

〔研修Ⅱ 防災セミナー&救急法講習〕

防災セミナーでは、永島主事(日本赤十字社鳥取県支部)から、感染症流行時の避難所での注意点を学びました。



講義風景

救急法講習では、西部安全奉仕団の指導員の皆様から、避難所生活での有効な体の温め方(ホットタオル、毛布ガウン)、万が一、異物を飲み込んだ際の対処方法(異物除去法)や、出血時のけがの手当て(止血法)等を学びました。



ホットタオル



毛布を使った保温方法

山崎会長、吉持団員もしっかり温まりました！



異物除去法

〔昼休憩 避難所での物品紹介〕

昼食（黙食）の際に、避難所で配られる非常食や物品の紹介をしました。おそらく、初めて間近にみる物資一式に生徒の皆さんも興味深々でした。



永島主事（日赤事業推進課主事）
非常食の紹介



非常食

〔研修Ⅲ フィールドワーク〕

教室に3つの関所を設置しました。HRメンバーは協力して各関所の問題に挑戦。関所の内容は、午前中に習った講義や実習の内容から出題されていきました。生徒の皆さんは復習ができたかな！？



関所0「芸術は模写から」
スライドに投影された絵画を、制限時間内に
グループで協力し完成させよう！



関所1「公平に分けよう」
避難所に届いた救援物資(食材)を、
避難者7人に公平に分けよう！



関所2「ワシのことどれだけわかる？」
赤十字創設者から、赤十字・青少年赤十字に
ついてのクイズを11問出題！



関所3「ジャミー君を助けよう」
ケガをしているジャミー君(人形)に
手当を行きましょう！

最後に、各関所担当の先生から好評をいただきました。各関所、みんなで相談し、「それぞれの意見の違い」について尊重しあい、協力して関門を突破していました。



〔研修Ⅳ ワークショップ「これからの青少年赤十字（以下：JRC）活動について」〕

三上指導者(米子南高等学校)の進行のもと、「これからのJRC活動について」のワークショップ（個人）を行いました。活動のアイデアを実現できるような行動計画の立案を、各自でしっかりと検討していました。また、行動計画に対しての意見をもらうため、積極的に指導者のもとへ行く生徒の姿も多く見受けられました。



5W1Hに基づき、各自で計画を
たてています



HR内で相談する姿も



行動計画を確認してもらい
活動のアドバイスをいただきました！

〔ワークショップHR内発表&全体発表〕

実施したい活動をHR内で発表をしました。またHR内の代表者を選出し、全体発表を行い、メンバー、指導者からの質問に答えました。皆さんが今回考えた計画は、学校に帰ってからしっかりと今後の活動に活かしてくれることを期待しています！



全体発表の様子



スタッフからの質問に対しても、しっかりと対応！

1HR

(小澤、森脇、矢瀧、伊澤)

代表者発表内容

LGBTについての理解を、ネット等を用いて普及させたい

2HR

(坂根、北尾、川上)

代表者発表内容

万が一の時も命が救える行動をとれるように、「to do 非常時ポスター」を作成したい

3HR

(河上、小川、廣田、西村)

代表者発表内容

JRCの認知度が低いのでポスターや他部活との連携をし周知していきたい。

〔閉講式〕

メンバーの進行で、生徒代表者、日赤鳥取県支部代表者、指導者協議会長、賛助奉仕団員の順に挨拶を行いました。



生徒代表 小澤 倅 さん
(米子北斗高等学校)



山崎 和正 会長
(青少年赤十字指導者協議会)



金田 千義 顧問
(青少年席赤十字賛助奉仕団)



修了証の贈呈

〔記念撮影〕



※撮影時は沈黙のなかで撮影

2週間前からの健康観察、手指の消毒、換気、マスクの着用などの感染対策のもと、イベント実施しました。イベント終盤には自ら考え、自発的に動いている生徒の皆さんの姿が印象的です。今後の学校生活でも「気づき・考え・実行する」取り組みを行ってくださることを期待しています！

